

平成30年第2回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 5月18日 8:30	1	小・中学校における バリアフリー対策と教育活動について	① 市内小・中学校における視覚障害や車椅子等必要な児童・生徒について ア 人数等の実態について イ 校舎や体育館の出入口等、学校の施設整備における現状・課題・今後の取り組みについて ② 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けてのバリアフリー教育の一環としての体験的な授業及び様々な障害のある方や高齢者の方への対応等、学校教育の現状・課題・今後の取り組みについて
	2	予防医療における口腔の健康維持について	① 東大和市の予防医療施策における口腔健康維持の現状・課題・今後の取り組みについて ② 歯周病からの他の病気への影響について ③ 成人歯科検診の今後の取り組みについて
2. 根岸 聡彦 5月18日 8:31	1	東大和市の学校教育について	① 東大和市学校教育振興基本計画について ア 今までの取り組み内容と成果は イ 東大和市が目指す教育の姿と現時点における課題は ② プログラミング学習について ア 学習の内容、スケジュールは イ 実施に向けた準備状況と、認識している課題は
	2	東大和元気ゆうゆうポイント事業について	① 事業の進行状況と市民の反応について ア 取り組みに対する現時点での評価は イ 市民や介護予防リーダーからの声に対する認識は ② 事業の展望について ア 今後、更に取り組んでいこうとしている施策は イ 現時点で認識している課題は
	3	下水道事業について	① 下水道事業の運営について ア 下水道料金改定による下水道事業への効果は イ 事業運営上の問題点と対応策は ② 下水道管渠の更新について ア 市内の下水道管渠の現況は イ 管渠を更新するためのタイミング及び手順は
3. 大后 治雄 5月18日 9:27	1	文書とシステムについて	① 改元に係る当市及び市民生活への影響について ア 「昭和」から「平成」の際の対応はどうか。 イ 市の対応は ウ 関係諸経費の見積もりは エ 他自治体の対応は オ 国・都からの指導・要請は カ 課題と今後の展開は
4. 実川 圭子 5月18日 14:25	1	香害について	① 被害の実態についての認識は ② 強い香料の使用の自粛について ③ 保育園・学校などでの対応は

(実川 圭子)	2	公共施設のトイレ芳香器の使用について	① 使用状況と効果は ② 必要性の検証は
	3	庁舎内の子育て支援について	① 男性職員の育児休暇について ア 取得状況について イ 取得率をあげるための取組について ② 来庁した子どもたちへの配慮について ア キッズコーナーの設置について イ 喫煙について
	4	子ども家庭支援センターの一時保育の予約について	① 現在の予約方法と課題は ② インターネットによる予約ができないか。
5. 中野志乃夫 5月21日 15:00	1	玉川上水駅の自転車等駐車場の改善について	① 有料化実施以降、多くの要望に対して、どのような対策を行うことになったのか。
	2	都営向原団地創出用地への特別支援学校問題について	① 平成30年第1回定例会以降の東京都との交渉はどうなったのか。
	3	市民の安全・防犯対策について	① 児童の交通安全対策の実状とその対策は ② 市民からの防犯上の相談やその対策は ③ 警察や防犯関係機関との連携は
6. 上林真佐恵 5月22日 13:00	1	保育園と学童保育所の待機児童対策について	① 待機児童の現状は ② 待機児童解消への取り組みについて、市の方針と具体的な計画は ③ 今後の課題は
	2	国・都・市有地の活用について	① 保育園や学童保育所、特別支援学校、特養ホームなどの福祉施設及びスポーツ施設の整備・拡充について、平成30年第1回定例会以降の現状と課題は
	3	都営団地への入居について	① 市内にある都営団地の不足についての認識は ② 市民がより入居しやすくするための課題は
	4	平和事業について	① 旧日立航空機株式会社変電所を活用した平和事業・平和学習の現状と課題は ② 平和首長会議に加盟する市としての取り組みについて ア 加盟市としての役割に対する認識は イ 取り組みの現状と課題は
	5	教職員の働き方改革について	① 教職員の過重労働の現状と、児童・生徒に与える影響についての認識は ② 取り組みの現状と課題は
7. 関田 貢 5月23日 8:37	1	東大和市の人口について	① 人口減少については、今年初めに厚生労働省が発表した人口動態統計で、その深刻さが浮き彫りにされました。2012年の合計特殊出生率が1.41になり、出生数は1899年以降で最少の約103万人にとどまったと発表がありました。 ア 平成29年度の自然増減数について a 平成29年度の出生数について b 平成29年度の死亡数について

<p>(関田 貢)</p>		<p>2 健康都市のまちづくりについて</p> <p>3 都営団地の創出用地等について</p> <p>4 ゲリラ豪雨や台風への対策について</p>	<p>c 自然増減数についての市の認識は イ 平成29年度の社会増減数について a 平成29年度の転入数について b 平成29年度の転出数について c 社会増減数についての市の認識は ウ 平成28年度は約38,000世帯のうち、一人暮らしは何世帯で何%なのか。 ② 人口対策については、どのような施策を進めていくのかお伺いいたします。</p> <p>① WHOの健康都市を目指して、東大和市で、その精神を尊重した宣言都市の実現について、お伺いいたします。 ア 先例市である千葉県市川市の健康都市の取り組みについて イ 平成21年8月には、26市の加盟市の取り組みがあり、現況はどうなっているのか。 ② 統合医療の推進のため、厚生労働省医政局の中に、統合医療企画調整室が設置されました。東大和市でも、調査研究して促進できないか。 ア 統合医療は現在、厚生労働省が進める地域包括ケアの具体的な手段であり、政府が進める一億総活躍と地方創生にも繋がる概念といわれております。当市ではどのような事業が期待できるのか、お伺いいたします。 イ 統合医療の社会モデルの実践のまちとされる、鳥取県南部町において、平成28年度に交付金を活用した事業がまちづくりの中核を担う時代になるだろうと言われております。その南部町の特長についてお伺いいたします。 ウ 当市でも具体的な統合医療的な療法について農作業（園芸、花栽培、ハーブ、漢方薬など）、薬膳料理、瞑想（座禅、回想）、ヨーガ、音楽療法、エネルギー、指圧、整体、動物飼育、技術を活かす工作、スポーツ、ダンスなどは検討が出来るのではないかと。</p> <p>① 東大和向原団地の創出用地北側1.8ha、南側2.7haの合計4.5haの見直しについては、どのような計画になるのかお伺いいたします。 ② 東京街道団地の計画として、660戸の住宅計画と創出用地等の事業化についてお伺いいたします。</p> <p>① 空堀川の幅員24～33m、延長3,900mの河川整備の現状、今後の見通し、及び完成時期について、お伺いいたします。 ② 当市は下水道事業で分流方式を取っている道路雨水管だけではなく、都市型災害防止対策として、南街、向原地区に大きな地下タンクの雨水貯留槽の設置を検討できないか。 ③ 市内の状況については、どのように分析され対策を立てられているのか、お伺いいたします。</p>
---------------	--	---	---

<p>8.和地 仁美 5月23日 13:35</p>	<p>1</p>	<p>防災について</p>	<p>① 市が計画している、発災時における様々な団体、組織との連携について ア 連携を想定している団体、組織にはどのようなところがあるか。 イ 連携を想定している団体、組織との連携内容について a 連携内容を連携先とどのように共有しているのか。 b 連携するために、どのような準備をしているのか。 ② 団体、組織との連携における課題と今後の対応について</p>
<p>9.木戸岡秀彦 5月24日 9:48</p>	<p>2</p>	<p>公共施設の市民の利用状況について</p>	<p>① 平成27年10月よりスタートした公民館、市民センターの公共施設予約システムについて ア 導入後の市民の利用状況について イ 利用者からの評判や意見について把握していることはあるか。 ② 市では受益者負担という考えのもと、利用料等の様々な改定を進めているが、公共施設の利用料金についてはどのように考えているのか。 ③ 市民の利用する公共施設における課題と今後の対応について</p>
	<p>1</p>	<p>自転車等駐車場対策について</p>	<p>① 各駅の駐車場の現状について伺う。 ア 玉川上水駅、桜街道駅、上北台駅周辺の一時利用が不足していると聞いているが、市の認識とその後の対策について伺う。 イ 定期利用の箇所を、休日など空いている時などに、一時利用として使用ができないか。</p>
	<p>2</p>	<p>道路の空洞化調査について</p>	<p>① 空洞化調査を実施したと聞いているが、具体的な調査内容について伺う。 ② 今回の調査を踏まえ、今後、道路保全についてどのように取り組もうとしているのか。</p>
	<p>3</p>	<p>防犯対策について</p>	<p>① 当市は防犯に対し、どのような取り組みを行っているのか。 ② 各地において不審者による凶悪な犯罪が増えていると思われるが、当市として公園や危険と思われる箇所に防犯カメラを設置することはできないか。 ③ 防犯カメラを有効に設置する為、民間企業と防犯カメラ及び自動販売機の設置に関する協定を締結できないか。 ④ 各家庭において個人で防犯カメラを設置する場合について ア 地域の防犯力が向上すると思うが、市の認識について伺う。 イ 個人で設置した場合、市として補助はできないか。 ウ 設置した場合、犯罪抑止力になるためのステッカーや看板などを設置することはできないか。</p>
	<p>4</p>	<p>ひきこもり支援について</p>	<p>① ひきこもりや不登校、人間関係などの悩みを抱える人への対応をするため、市に総合相談窓口を設置することはできないか。</p>

<p>(木戸岡秀彦)</p>	<p>5</p>	<p>空き家対策について</p>	<p>② 支援につながるためのセミナーなどはできないか。</p> <p>① 空き家が増えていると思われるが、適切な管理及び利活用促進のため、実態調査を行うべきと考えるが、市の認識を伺う。</p> <p>② 武蔵村山市が実施しているシルバー人材センターとの連携による実態調査について、当市でも参考にするとのことだが、実施する考えはないのか。</p> <p>③ 空き家の適正管理のための条例の制定を進めるべきと考えるが、市の認識を伺う。</p>
<p>10. 中間 建二 5月24日 9:49</p>	<p>1</p>	<p>「スフィア基準」による避難所の整備と対応について</p>	<p>① 国際的な避難所基準である「スフィア基準」について、どのような認識を持っているのか。</p> <p>② 当市で「スフィア基準」を取り入れていく場合に、現状の避難所の状況をふまえ、どのような課題があるのか。</p> <p>③ 「スフィア基準」に近づけていくためには、行政の努力のみならず、各家庭において避難所での生活を避けるための「自助」の取り組みが重要と考えるが、どのような認識を持っているのか。</p> <p>④ 災害対策基本法に基づく地区防災計画の策定について、どのような取り組みを行っていくのか。</p>
	<p>2</p>	<p>ドライブレコーダーによる防犯対策の強化について</p>	<p>① 公用車にドライブレコーダーを搭載することによって、運転マナーの向上、交通事故防止の効果が期待されることに加え、防犯対策にも寄与すると考えるが、どのような認識を持っているのか。</p> <p>② 他市での事例や効果等について、情報収集を行っているか。</p> <p>③ 全ての公用車へのドライブレコーダーの搭載について、早急に進めていくべきと考えるが、どのような認識を持っているのか。</p>
	<p>3</p>	<p>高齢者のセルフネグレクト対策について</p>	<p>① 認知症や心の病等によって判断能力が低下した高齢者のセルフネグレクトについて、当市での実情はどのようなものか。</p> <p>② 現状では、どのような対応を行っているのか。</p> <p>③ 高齢化の進展によって、認知症を発症する方が増加することが予測されているが、成年後見制度、地域福祉権利擁護事業等の利用の促進について、どのように取り組んでいかれるのか。</p>
	<p>4</p>	<p>学校教育におけるいじめ根絶の取り組みについて</p>	<p>① 現在、いじめ根絶に向けて、どのような取り組みが行われているのか。</p> <p>② 子どもをいじめから守るために、より相談を受けやすい体制整備としてLINEを活用することを検討できないか。</p> <p>③ いじめを根絶するための条例制定について、どのような検討を行っているのか。</p>
<p>11. 東口 正美 5月24日 16:25</p>	<p>1</p>	<p>豪雨災害の対策について</p>	<p>① 次に上げた項目の、これまでの対策と効果、今後の取組みと課題について伺います。</p> <p>ア EGSM工法について</p> <p>イ ハザードマップの公表について</p> <p>ウ 止水板設置の補助制度について</p> <p>エ 雨水貯留浸透施設の設置について</p>

<p>(東口 正美)</p>	<p>2</p>	<p>清原・新堀地域の公共交通の利便性の向上について</p>	<p>② 東野火止橋付近の道路冠水による被害軽減のための、野火止用水の緑地帯を利用した対策について伺います。</p> <p>① 高齢化が進む清原地域のバス停のベンチ・上屋の設置のこれまでの検討状況と設置の予定について伺います。</p> <p>② ちょこバス路線廃止後の清原地域・新堀地域の公共交通の課題をどのように捉え、その解決策についての考えを伺います。</p> <p>③ 清原市民センター及び新堀地区会館と市役所を往復する交通手段を考えることが出来るか伺います。</p>
	<p>3</p>	<p>口腔ケアについて</p>	<p>① 口腔がん検診について伺います。 ア 平成27年第3回定例会の質問以降、検討されたことはありますか。 イ 口腔がんの早期発見のためにどのような方法が考えられますか。</p> <p>② 無料歯科相談で行われている内容とこれまでの実績・効果について伺います。</p> <p>③ 歯周疾患検診について伺います。 ア これまでの実績・効果について伺います。 イ 検診の対象年齢を拡大することが出来るか伺います。 ウ 歯周病と全身疾患の関係性に対する考えと取組みについて伺います。</p> <p>④ かかりつけ歯科医の重要性と推進に対する取組みについて伺います。</p>
<p>13. 荒幡 伸一 5月25日 9:53</p>	<p>1</p>	<p>健康増進施策について</p>	<p>① 心身の活力が低下した状態をいうフレイルの予防の重要性について</p> <p>② フレイルの予防対策について ア 加齢とともに筋肉が減少し、転倒などのリスクが高まる身体的要素について イ 意欲や気力が低下し、何をするのもおっくうになり、老人性のうつや認知症のリスクが高まる精神的要素について ウ 外出の回数が減り、人との交流がなくなり、孤立しがちになる社会的要素について</p> <p>③ フレイルの兆候をチェックする仕組みについて</p> <p>④ 柏市のかしわフレイル予防サポーター制度の導入について</p> <p>⑤ 正しい歩き方、正しい靴の選び方の普及による健康寿命の延伸について</p>
	<p>2</p>	<p>高齢化が進む社会への対応について</p>	<p>① 行政で可能な終活支援における、当市の現在の取り組みと今後の予定について</p> <p>② 増加傾向にある、ひとり暮らしの高齢者の不安をやわらげる事業、横須賀市エンディングプラン・サポート事業について</p> <p>③ 東大和市らしい終活サポート、オリジナルのエンディングノートの作成について</p> <p>④ 終活関連企業や施設との連携について</p> <p>⑤ 在宅での看取りの今後について</p>

(荒幡 伸一)	3	患者の状態に応じた適切な医療提供について	① 転院支援や退院支援の現状と課題について ② 東京都の転院支援情報システム活用のメリットとデメリットについて
	4	東大和の方言の保存について	① 在来方言の地域資源としての利用について ② 在来方言の保存に向けた、他自治体の取り組みと当市の現状について ③ 学校生活における方言教育の現状と課題について
14. 佐竹 康彦 5月25日 10:13	1	子育て施策と子どもの安全確保について	① 保育所の待機児童について ア 今年度の保育所の待機児童の現状はどうか。 イ 待機児童解消に向けた今後の施策展開について a 認可保育所の新たな整備について、本年3月の予算特別委員会で言明があった。なぜ、これまでの方針を転換しようと考えたのか。今後の方向性についてどのように考えているのか。 b 人口減少局面に転じた当市における待機児童の解消について、多様な保育形態のバランスをどのように取っていく考えか。 ② 学童保育所の運営と放課後の過ごし方について ア 今年度の学童保育所の待機児童の現状はどうか。 イ 新規開設した民間学童保育所の運営について、現状と今後の展望はどうか。 ウ 放課後子ども教室との一体的な運用について、今後の展望はどのようなものか。また、放課後子ども教室を毎日行うことについて、今後どのように取り組もうとしているのか。 ③ 登下校中などの児童生徒の安全確保について ア 通学路の安全対策の今年度の取り組みと目標及び対策について伺う。 イ 保護者へのメール通知による「みまもりサービス」の導入について a 当市における導入の是非も含めたこれまでの検討状況はどのようなものか。 b 導入に関する今後の展望はどのようなものか。
	2	ごみ対策について	① 戸別収集後の旧ごみ集積所の取り扱いについて ア 個人の住宅の一部提供により使用されていたごみ集積所について、戸別収集実施後の利用現状はどのようなものか。 イ 既に利用されていないごみ集積所について、返還の要望をされている事例がある。今後市は、これらの旧ごみ集積所についてどのような取り扱いをしていこうと考えているのか、見解を伺う。
	3	大学などの教育・研究機関との連携強化について	① 現在、大学や研究教育機関と連携して行っている市の事業にはどのようなものがあるのか。また、連携した理由とその効果をどのように見込んでいるのか。 ② 今後、こうした外部機関と連携して行政の事務事業を進めていくことについて、さらに多くの分

<p>(佐竹 康彦)</p>	<p>4</p>	<p>良好な生活環境の確保について</p>	<p>野で連携をしていくべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>① 従前、良好な生活環境の確保について、条例を制定して行政として課題解決に協力していく体制を作るべきと訴えた。現在までの取り組みと、今後の展望について市の見解を伺う。</p>
<p>15. 中村庄一郎 5月25日 10:25</p>	<p>1 2 3 4 5</p>	<p>新青梅街道拡幅について</p> <p>村山貯水池堤防耐震工事について</p> <p>都市基盤整備について</p> <p>日本一子育てしやすいまちづくりについて</p> <p>行事、事業について</p>	<p>① 進捗状況と今後の課題について</p> <p>② 東大和市におけるメリット、デメリットについて</p> <p>③ 近隣の土地の今後の課題について</p> <p>① 進捗状況と今後の課題について</p> <p>② 東大和市におけるメリット、デメリットについて</p> <p>① 空き家対策の現状と今後の課題について</p> <p>② 人口の現状と今後の課題について</p> <p>③ 都市化と農地について</p> <p>ア 開発の現状と今後の課題について</p> <p>④ 市内交通機関について</p> <p>① 出産期における現状と今後の課題について</p> <p>② 幼児期（幼稚園、保育園他）における現状と今後の課題について</p> <p>③ 教育における現状と今後の課題について</p> <p>④ 就職に係る現状と今後の課題について</p> <p>⑤ 住宅事情に係る現状と今後の課題について</p> <p>① 各事業における現状と今後の課題について</p> <p>ア うまかんべえ～祭</p> <p>イ 環境市民の集い</p> <p>ウ 市民文化祭</p> <p>エ ふれあい市民運動会</p> <p>オ 水防訓練</p> <p>カ 出初式</p> <p>キ 産業まつり</p>
<p>16. 森田 真一 5月25日 11:35</p>	<p>1 2</p>	<p>国民健康保険の広域化に伴う6年連続の保険税大幅値上げについて</p> <p>第5次行政改革大綱について</p>	<p>市は、今年4月から6年連続で国民健康保険税を値上げし、昨年度水準を37.5%も引き上げようとしています。国民皆保険制度を脅かすものであり、連続値上げは中止すべきです。</p> <p>① 広域化に伴っての保険税見直しについて、多摩26市の状況を伺います。</p> <p>② 昨年度の保険税水準を6年で37.5%引き上げるといいますが、毎年の見直しにより引き上げ幅はさらに膨れ上がる可能性が大きいと考えます。このような大幅値上げは医療を受ける市民の権利を侵害するものになると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>① 職員の月100時間を超える長時間残業は一刻の猶予も許されない重大問題です。職員定数は実態に即して管理すべきであり、毎年1名ずつ機械的に減らすべきでないと考えますが、いかがですか。勤務時間の弾力的な運用も、職員の労働強化</p>

<p>(森田 真一)</p>			<p>を招くものであってはなりません、併せて伺います。</p> <p>② 窓口業務の委託について、行政の役割を損なうものであってはなりません。検討状況について伺います。</p> <p>③ 一昨年7月に3割も値上げされたばかりの下水道使用料は値上げすべきではありません。検討状況について伺います。</p> <p>④ 保育料や学童保育所育成料も値上げすべきではありませんが、検討状況について伺います。</p> <p>⑤ その他使用料・手数料について検討状況を伺います。</p> <p>⑥ 市単独の扶助費削減について検討状況を伺います。</p> <p>⑦ 財政調整基金や公共施設等整備基金など基金積み立てについて伺います。</p>
3		<p>都市農業の振興強化について</p>	<p>都市農地の維持、都市農業振興のための課題について伺います。</p> <p>① 新たに生産緑地指定が可能となった300平方メートル以上500平方メートル未満の農地を持つ農家の指定の意向や500平方メートル以上の生産緑地指定農地を持つ農家の今後の営農の意向の把握について伺います。</p> <p>② 今後営農が困難になった農地の市民農園への利用やまた農家が直接市民に貸し付ける農業体験園への助成について導入する考えを伺います。</p> <p>③ 今国会で都市農地の賃借の円滑化に関する法案が審議されていますが、成立した場合、相続等による農地の減少を予防するための税制上の措置や農地の利用についてどのような支援が可能か課題を伺います。</p>
4		<p>横田基地へのオスプレイ配備ならびにパラシュート降下訓練による市民生活への影響について</p>	<p>在日米軍は、重大事故が相次ぐオスプレイを今年の夏ごろに横田基地へ配備すると発表し、配備に先立ち4月13日には5機が飛来しました。</p> <p>また、4月10日にはパラシュート降下訓練時に切り離されたパラシュートが中学校の校庭に落下する事故が発生しました。</p> <p>学校や保育園、福祉施設、病院や住宅が密集する首都・東京で、オスプレイの配備や超低空飛行による訓練、パラシュート降下訓練を行うことは、市民の命と安全・安心を脅かすものであり絶対に許されません。以下伺います。</p> <p>① 横田基地でのオスプレイの飛行訓練やパラシュート降下訓練などによる本市を含む周辺自治体の住民生活への影響について市の見解を伺います。</p> <p>② 横田基地に離着陸する航空機やパラシュート降下訓練などが行われる飛行経路を市はどのように把握しているのか伺います。</p> <p>③ 住宅密集地の上空での危険な訓練を行わないよう本市も米軍や防衛省に対し直接求めることが必要と考えますが市の見解を伺います。</p>
5		<p>子どもの学費の補助について</p>	<p>就学援助や奨学金などの制度は、基本的に低所得世帯への支援という建て付けになっています。しか</p>

(森田 真一)			<p>し、多子世帯などでは中位の収入があっても実際には子どもの学費の捻出に困難をきたしている世帯もあり、そのため進学の手配が立てられないという声も聞かれます。</p> <p>市独自に就学援助を補完する制度や廃止された奨学金制度を復活させ子どもの学ぶ権利をもれなく保障することが必要と考えますがいかがですか。</p>
---------	--	--	---